

高機能ゴム製品を支える新技術・基礎技術

～ゴム配合・原材料の進化がここに！！～

主催：日本ゴム協会研究部会 配合技術研究分科会

協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本材料学会

(予定) 日本接着学会，日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，日本レオロジー学会

日本複合材料学会，プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会 (順不同)

今回のシンポジウムでは配合技術に関わる新技術，新材料について紹介します。また，配合の基礎技術に立ち返り，配合に直接関係する加硫系や可塑剤の適用例も紹介します。実際の配合検討に参考になるよう著名な講師陣をお招きして企画しました。プログラムの最後には講師の方々とディスカッションする時間も用意しております。多数の参加をお待ちしております。

日時：2015年3月13日(金) 午前9時50分～午後4時45分

場所：東京電業会館 地下ホール 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL 03 (3403) 5181(代)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます

シニア制度対象者 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。(定員80名)

送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通Na7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。開催日が近づきましたら開催ご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第211回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)

FAX 03 (3401) 4143 TEL 03 (3401) 2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp)

演 題	講 師・座 長
9:50～10:00 開会のあいさつ	配合技術研究分科会主査 鹿久保 隆志
	【座長】元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘
10:00～11:00 動的結合を利用した自己修復性エラストマー	東京大学 生産技術研究所 教授 吉江 尚子氏
動的結合による架橋したエラストマーの修復性について述べる。	【座長】大内新興化学工業(株) 小松 智幸
11:00～12:00 スーパーグロースカーボンナノチューブと応用研究の紹介	日本ゼオン(株) 長宗 勉氏
日本ゼオン株式会社において研究開発を進めている，スーパーグロース法で作成するカーボンナノチューブの紹介と，それを使用した機能性材料の特性に関する研究成果を，具体例を挙げて説明する。	【座長】鬼怒川ゴム工業(株) 宇都木 宏之
12:50～13:50 ゴムと加硫系(原料ゴムに応じた加硫系の選定)	川口化学工業(株) 大貫 毅氏
ジェン系ゴムから特殊ゴムまで，課題に応じた加硫系について紹介する。	【座長】ニチアス(株) 山田 均
13:50～14:50 液状オレフィン系ゴム(液状EPT)の開発と展開	三井化学(株) 斎藤 純治氏
三井化学では液状オレフィン系ゴム材料として，樹脂骨格中にビニル基を有する液状EPTを開発している。本材料はEPTの特性と優れた加工性(高速架橋)を併せ持ち，種々のゴム用途で現在開発を進めている。	【座長】(株)明治ゴム化成 榊原 正明
15:00～16:00 ゴム用合成可塑剤の理論と実践	(株)ADEKA 仙石 忠士氏
各種特殊ゴム用合成可塑剤の種類・特徴および選択のポイントについて解説する。	【司会】三新化学工業(株) 立畠 達夫
16:05～16:45 講師による質疑応答	
16:45 閉会のあいさつ	配合技術研究分科会副主査 立畠 達夫

※プログラムは一部変更になる可能性があります。

☆お申込みは弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。